

令和6年

6

月定例会議  
一般質問に立つ

和装文化について

滋賀県議会議員

かわい昭成

あきなり



facebook



Website

すべてのひとが輝くために  
可能性を実現できる滋賀へ



お祭りでの浴衣、成人式での晴れ着、冠婚葬祭での和装、私たちの国の伝統的な衣装である「着物」ですが、本物がなくなる危機にあります。日本の文化の根幹ともいえる和装文化をいかに次世代につなぐか、という観点で質問を行いました。

Q 河井 「和装文化」の現状や課題の認識は？

三日月知事 ▶ 和装文化は、日本古来のそして将来にも継承していくべき大切な伝統文化であるが、洋装化が進み、和装を日常的に着用する機会が少なくなった。それに伴い、着物の手入れや着付け、季節や場面に応じた装いや所作など和装にまつわる日本ならではの生活文化に触れる機会も、近年少なくなっている。和装の市場も小さくなり生産地は厳しい状況で、担い手の育成や技術の継承等に課題がある。

Q 河井 県内の和装に関わる産業の現状は？

商工観光労働部長 ▶ 湖東麻織物や高島綿織物は、現在大半が和装分野以外に用いられている。一方、長浜縮緬は、生地ほとんどが着物用。和装需要の低迷、輸入品や化学繊維等との競合、コロナ禍による冠婚葬祭の簡素化等の影響を受け、昭和47年に1,692,000反だった生産量は令和4年で11,900反とピーク時の1%以下まで減少している。

Q 河井 これまでの県内の和装に関わる産業への支援は？

商工観光労働部長 ▶ ①省人化や生産性向上につながる設備、消費者ニーズに即した商品開発に必要な設備の導入、販路開拓等への支援。②環境負荷低減につながる製品開発など、消費者を意識した取組に対して支援。③東北部工業技術センターでの技術的な支援、などを行ってきた。

Q 河井 危機的な状況を打開するためには、消費者側に働きかける支援が必要では？

商工観光労働部長 ▶ 「需要者側に働きかける」購入支援について、産地で製造された生地が着物として販売されるまでには様々な工程があり、また様々な素材のものが流通している状況であり、購入支援が県内産地の生産者への支援にどの程度つながるのか、効果が一過性にとどまらないかなど、慎重に検討する必要がある。

Q 河井 着物を着る機会を増やす取り組みは？

商工観光労働部長 ▶ 着物を着ていただくために、まず和装に関わる産地のことや、歴史的な背景、技術などの魅力を知っていただき、和装に関心を持っていただくことが重要と考える。今年度の「地場産業・伝統的工芸品

魅力発信ベース検討事業」において、長浜市、米原市、高島市の北部地域で地場産業・伝統的工芸品の製作実演・体験、展示による魅力発信の拠点について検討する。「着る」機会を設けるには、様々な調整が必要で、具体的にどのような体験、展示等が可能か、今後検討していきたい。

Q 河井 学校における和装教育の取り組みの現状は？

大杉副知事 ▶ 中学校や高等学校の家庭科で「日本の伝統的な衣服である和服に触れる」とされ、冠婚葬祭や儀式などで着用すること、洋服との違いなどについて学んでいる。県内では、地域の専門の方をお願いし、浴衣の着付けなど、和服の基本的な着装を扱っている学校もあり、近年、増えている。実際に着ることは、和服のよさを体感し、興味・関心をもつきっかけになるものと考えている。

Q 河井 日本文化の学び、教育の状況について伺う。

大杉副知事 ▶ 県内の小中学校では、講師を招いて茶道、華道の体験をしたり、琴の演奏体験をしたりする学校がある。また、中学校の総合的な学習の時間では、「伝統文化学習」として、琴、尺八、剣舞、華道等の学習をしている学校もある。これらの学習を通じて、伝統的な日本文化を学び、どのように受け継ぎ、伝えていけばよいかを考え、実践できる生徒の育成を目指している。

Q 河井 和装文化を次の世代に継承する今後の取り組みは？

三日月知事 ▶ 和装文化を継承していくために、和装に関わる産業の振興、支援という視点。和装文化に親しむ教育や、それに関連する伝統文化、伝統的な日本文化をどのように学ぶのかという視点。日常生活の中で「着る」視点。これらの視点で相互に関連させながら考えることが重要だと考える。また、国際交流の中で、日本文化を改めて見直し、私たちも実践していくという視点も大事にししながら、この和装文化を改めて見直し、そして親しむ機会を増やし継承させていくという、こういう好循環を一緒に生んでいければと思う。

他に「災害発生時の避難所の開設について」質問を行いました

6月定例会議で審議した主な議案

◆令和6年度 滋賀県一般会計補正予算(第1号) 総額 43億 516万円

主な事業と予算額	
米原駅東口県有地利活用検討事業	719,145千円
水産金融対策費	126,820千円
アユ等水産資源維持保全事業	12,619千円
日野高校のエレベーター整備	16,064千円

◆令和6年度滋賀県一般会計補正予算(第2号) 総額 3億 7,909万円

県立高等専門学校整備推進費	379,093千円
---------------	-----------

- ◆滋賀県税条例の一部を改正する条例案
- ◆滋賀県副知事の選任につき同意を求めることについて

7/31~8/2 チームしが県議団 県外視察を行いました check

北海道ニセコ町

国のSDGs 未来都市に選定されているニセコ町の「NISEKO 生活・モデル地区構築事業などのSDGsの取り組み」、「産業遺産を活用し交流空間を整備した中央倉庫群」、「災害への対応・利便性の向上・職場環境の改善・環境への配慮などを実現した新庁舎」と多岐にわたって視察しました。



国立アイヌ民族博物館

アヌココロ アイヌ イコロマケナル

アイヌ文化の振興、普及、啓発のために国が約200億円をかけて整備した拠点施設です。先住民族の尊厳を尊重し、多様で豊かな文化を持つ社会に向けた象徴として設立されています。博物館の展示のあり方などは新文化館整備の参考になると考えます。



他に「北海道立動物愛護センター あいにきた」「北海道ボールパーク F ビレッジおよび農業学習施設 KUBOTA AGRI FRONT」を視察しました。